

| 第2回氷見市総合計画審議会 会議録 |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時               | 令和8年5月14日（木） 15時00分から16時30分まで                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                  |
| 場 所               | 氷見市ふれあいスポーツセンター会議室                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                  |
| 出席者               | 委 員                                                                                                                             | 池森 典子、磯島 由佳子、浮橋 勉、浦島 智之（代理 杉本）、大舘 育仁、奥村 真一（代理 杉井）、尾畑 納子、鎌仲 徹也、木村 浩司（代理 十二）、小島 稔、清水 幸雄、清水 五月、高木 義則（代理 七分）、辻 卓也、辻井 満雄、西川 扇博、林 茂之、林 千昭、松原 勝久、宮崎 雅仁（代理 大川内）、村山 由佳、森口 毅彦、藪田 栄治、吉崎 一美、吉田 聡子、若杉 央（出席26名）（欠席4名：林 美樹、松井 みづほ、柳田 ゆかり、山崎 弘善） |
|                   | 市関係職員等                                                                                                                          | 菊地市長、篠田副市長、東軒政策統括監、蔵田企画政策部長、萩原総務部長、竹口市民部長、出戸産業振興部長、小倉建設部長、栗屋防災・危機管理監、岩根教育次長、中川会計管理者、谷野消防管理監<br>事務局（高野未来戦略課長、菊地未来戦略課長補佐、外4名）                                                                                                      |
| 次 第               | 1 開会<br>2 市長あいさつ<br>3 審議会委員の交代と委嘱<br>4 議事<br>（1）第9次氷見市総合計画の基本構想の変更案について<br>（2）意見交換<br>（3）議事の下承<br>5 閉 会                         |                                                                                                                                                                                                                                  |
| 資 料               | 資料1 第9次氷見市総合計画の基本構想の変更案について<br>資料2 第9次氷見市総合計画の基本構想の変更案（概要版）<br>資料3 令和8年度市民アンケート集計結果<br>資料4 策定スケジュール<br>参考資料1 第1回 氷見市総合計画審議会 会議録 |                                                                                                                                                                                                                                  |

## 1 開会

(事務局)

定刻となったので、ただいまより第2回氷見市総合計画審議会を開催する。初めに、市長からご挨拶申しあげる。

## 2 市長あいさつ

(市長)

皆様には、ご多用の中、第2回氷見市総合計画審議会に出席いただき、感謝申し上げます。

さて、令和4年度から令和13年度までを計画期間とする第9次氷見市総合計画は、計画策定から4年が経過し、策定以降、人口減少や少子高齢化の進行、働き方・ライフスタイルなどの価値観の多様化に加え、能登半島地震の発生など、本市を取り巻く社会環境等が大きく変化している。

令和9年度からの総合計画後期基本計画の策定に当たっては、それらの社会環境等の変化へ適切に対応するとともに、市民の皆様の意見を的確に捉え、より現実的で実効性のある計画とし、震災以前にも増して活力と賑わいのある「氷見」をつくっていく必要がある。

そのため、震災を教訓とした災害に強いまちづくりや、こどもまんなか社会・共生社会の実現のほか、「食」、「自然・景観」などの本市の強みを生かし、誰もが活躍できる産業振興などを進め、「オール氷見」で持続可能なまちづくりを推進することが重要である。

本日の会議では、それらを踏まえた、第9次氷見市総合計画の基本理念や施策体系などを示す「基本構想」の変更案についてお諮りするものである。

委員の皆様方におかれましては、それぞれの分野、お立場から、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げまして、開会のあいさつとさせていただきます。

## 3 審議会委員の交代と委嘱

(事務局)

はじめに、委員の交代について、ご報告する。4月1日の人事異動により、新たに富山県高岡土木センター氷見土木事務所長の浦島様、富山県高岡農林振興センター所長の宮崎様、富山県高岡厚生センター氷見支所長の若杉様に就任いただいている。

また、氷見市自治振興委員連合会会長の交代により、新たに林 茂之様に副会長に就任いただいている。

新たに就任いただいた委員の皆様には、市長から委嘱書をお渡しすべきところであるが、時間も限られていることから、お手元に配布させていただいた。また、ご出席いただいた皆様方についてご紹介すべきところではあるが、お手元の座席表、審議会委員名簿をもって紹介に代えさせていただきたい。

## 4 議事

### (1) 第9次氷見市総合計画基本構想の変更案について

(事務局)

ここから先は、氷見市総合計画審議会条例第5条第1項の規定に基づき、会長に議事の進行をお願いする。

(会 長)

はじめに、本審議会の委員は30名である。本日の出席委員は26名であり、氷見市総合計画審議会条例第5条第2項に規定する会議開催の定足数16名を満たしていることを報告する。

それでは、議題「第9次氷見市総合計画基本構想の変更案について」、事務局から説明をお願いする。

(事務局)

「資料1 第9次氷見市総合計画の基本構想の変更案について」

「資料2 第9次氷見市総合計画の基本構想の変更案（概要版）」

「資料3 令和8年度市民アンケート集計結果」

「資料4 策定スケジュールについて」

以上を説明した。

### (2) 意見交換

(会 長)

ただいま事務局より説明のあった「第9次氷見市総合計画の基本構想の変更案について」委員から意見、質問があれば承りたい。

(委 員)

政策「子どもまんなか社会の実現」の子どもの年齢幅は何歳を想定しているのか。また交通インフラの整備や中心市街地の活性化など、もう少し具体的な施策を記載することが必要ではないか。

(事務局)

子どもの年齢幅は0歳から18歳を想定している。今回の審議会では、総合計画基本構想の変更案について、審議いただいているが、次回の審議会では、具体的な施策を盛り込んだ後期基本計画素案をお示しする。

(委 員)

政策「戦略的な観光の振興」の内容を具体的に示してほしい。氷見市の観光は日帰りや立ち寄りの「通過型観光」であり、観光収入が市外に流れる傾向にある。今後は

「滞在型観光」への変更が必要である。市内の宿泊施設は、週末は満室であり、毎年3月に開催される春の全国中学生ハンドボール選手権大会での選手の宿泊対応も難しくなっている。インバウンド、団体客などに対応するためには、市内に大型ホテルが必要だと思う。

また、定置網の見学や田植えなどの里山体験、サイクリング体験などの氷見市の強みを生かした「体験型観光」も重要である。インバウンド、修学旅行客の誘致にも繋がる。併せて自動車がなくても移動しやすいよう2次交通の強化にも取り組んでほしい。総合計画には『通過型観光』から『滞在型観光』への変更を追加してほしい。

(事務局)

いただいたご意見を反映させたい。

(委員)

新基本目標「未来づくり」の新政策「共生社会の実現」の主な施策等に「脱炭素地域づくり」や「環境保全」が盛り込まれていることが気になる。新政策「共生社会の実現」の主な施策等は幅広くなっており、氷見にとって大切な自然環境の施策等が「具体性に欠けるものになるのではないかと懸念している。現政策「人と自然環境が共生する環境づくり」を基本目標「地域づくり」に残してほしい。

(事務局)

新基本目標「未来づくり」には「地域づくり」の要素もあるため、現政策「人と自然環境が共生する環境づくり」の主な施策等を、新政策「共生社会の実現」に盛り込む形で整理したが、いただいたご意見は検討させていただく。

(委員)

氷見線・城端線の直通化後の産業・観光振興や氷見高校の活動に注目している。特に氷見高校の活動については、株式会社の設立や全国募集等が十分にPRされていないと感じる。具体的施策には氷見高校について盛り込んでほしい。

(委員)

基本目標の順番だが、現基本目標「育てたいまち」は3番目だったが、対応する新基本目標「未来づくり」が1番目となっているが、意図があるのか。

(事務局)

震災や人口減少の中で未来に希望を持てるよう、新基本目標では「未来づくり」を1番にさせていただいた。

(委 員)

自分が代表を務める氷見青年会議所でも「子どものまんなか社会」を事業として考えている。子どもたちの居場所については、物理的なものだけではなく、心理的なものも含め施策を考えてほしい。

(委 員)

現政策「仕事と子育てが両立できる支援の充実」が新基本目標「未来づくり」の政策になく、具体的な記載も見当たらない。

(事務局)

現政策「仕事と子育てが両立できる支援の充実」を、新基本目標「未来づくり」の新政策「結婚・出産・子育てしやすい環境づくり」に統合したためである。主な施策等の内容として「仕事と子育ての両立支援」を追記させていただく。

(委 員)

市民アンケートの感想になるが、「防災・減災対策の充実」の満足度が低いので、富山県として改めて防災・震災対策に取り組みたい。「インフラの強靱化などの災害に強いまちづくり」がアンケート結果として高かったが、氷見市は地盤が弱いので、インフラの強靱化には「費用・マンパワー・技術力」が必要である。エッセンシャルワーカーの確保も含め、富山県として取り組んでいきたい。

(委 員)

自分が運営する宿泊施設では金沢大学と連携してインターンシップを実施しているが、氷見市の大学連携について、具体的に教えてほしい。

(事務局)

愛知県の名城大学と連携し事業を実施しているほか、東京都の実践女子大学とも連携しフィールドワークやインターンシップを実施している。産官共に大学との連携を進めていければ良いと思う、

(会 長)

大学連携は学生に氷見市の良さを知ってもらうことが目的か。また大学と氷見市の繋がりはどうやって始まるのか。

(事務局)

大学連携は学生に「氷見市の良さを知ってもらう」という目的もあるが、学生を含め若者が地域に入ると地域の活力に繋がる。若者と地域が交流することで、氷見市を好きになってもらい、関係人口やIターンに繋げたい。

大学と氷見市の繋がりのはじめは、様々なケースがあるが、大学連携を知ってもらうことで、更なる動きに繋がると思うので、発信力の強化に努めたい。

(委 員)

子どもや親の意見ばかりを尊重するだけではなく、守っていかなければいけない親としての心構えなども必要だと思う。子育て支援については、社会変化に対応する部分と守っていく部分を見極めてほしい。

(事務局)

子どもの意見を大事にしつつ、政策「時代を担う子どもの育成」の中で、子どもを育てていく人たちの意見を反映していきたい。

(委 員)

市民アンケートの設問について、審議会の資料になかったと思う。質問の仕方によっては、アンケート結果が作画的なものになる可能性がある。アンケートの設問も委員に見せていただけるとありがたい。

### **(3) 議事終了**

(会 長)

本日は「基本構想の変更案」について審議いただき、委員の皆様からは様々なご意見があったかと思うので、これらのご意見を踏まえ、「基本構想の変更案」を若干変更させていただきたいと考えている。賛成の方は拍手をお願いします。

(委 員)

拍手で承認。

(会 長)

それでは、基本構想の変更案について、一部変更することとし、内容については、会長一任とさせていただきたい。

なお、変更した「基本構想の変更案」については、6月1日に私から菊地市長に答申する。

(会 長)

以上で本日予定していた議事はすべて終了した。委員の皆さま方には長時間にわたり、議事の進行に協力いただき感謝申し上げます。

それでは、この後の進行は事務局にお任せする。

## 5 閉会

(事務局)

それでは、閉会にあたり、市長から皆様に挨拶申し上げます。

(市長)

本日は「第9次氷見市総合計画基本構想の変更案」について、議論いただき、併せて承認いただき感謝申し上げます。今回は「基本構想の変更」のため、具体的なイメージがわきにくかったと思う。いただいた意見は今後の具体的な施策に反映していく。

後期基本計画の策定において一番大事なのは、今住んでいる市民の皆さんが、幸せになれる。健やかに安全・安心に暮らしていけることである。その上で創造的復興による関係人口、交流人口の創出を進めていきたい。10年後、20年後に「能登半島地震による被害があったけど、氷見は良くなったね」とみんなが言えるまちづくりを進めていきたい。引き続きのご理解、ご支援をいただきたい。

(事務局)

次回の審議会は10月上旬を予定しており「第9次氷見市総合計画後期基本計画素案について」の審議をお願いしたい。日程が決まり次第ご案内させていただき、資料も事前に送付させていただく。

以上をもって、第2回氷見市総合計画審議会を閉会する。